自己PRについて

なぜ必要か

企業が「求職者の強み・人柄・ポテンシャル」を把握し、自社にマッチするか判断する材料とするため 。

履歴書やESに記載し、面接の参考資料となる。

例文

良くない例

私はリーダーシップを強みとしています。
学校のグループ制作ではリーダーとしてチームをまとめ、メンバー全員に積極的に声をかけながら作品制作を進行しました。制作途中ではメンバー間で意見の対立もありましたが、私が中心となってコミュニケーションを取り、チームを成功へ導きました。

また、私はコミュニケーション能力にも自信があります。相手の立場を考えて行動することを常に意識しており、誰とでも円滑な人間関係を築くことができます。その結果、チーム全員が一致団結して制作に取り組むことができ、作品発表では 高い評価をいただきました。

仕事においても周囲との連携を大切にし、リーダーシップを発揮しながらチームに貢献したいと考えています。

具体性がない

何人チームで何を作った？

何が対立してどう解決した？

高い評価って何？

テンプレ感

例文①

私は物事に取り組む際、「継続力」を大切にしています。
課題制作やアルバイトなど、上手くいかないことや自分に合わないと感じることがあっても、最後までやり切ることで新たな学びや成長につながると考えています。

私は高校生の頃からコンビニでアルバイトを続けています。最初は慣れない接客業務や覚えることの多さに戸惑い、失敗することも多くありました。しかし、苦手だからと途中で投げ出すのではなく、一つずつ改善しながら続けることを意識しました。

その結果、徐々にできる業務が増え、苦手だった接客対応にも自信を持って取り組めるようになりました。現在では後輩指導も任され、かつての自分のように慣れない仕事に戸惑う新人をサポートする立場になりました。この経験を通して、継続して取り組むことで自分の成長につながることを実感しました。

現在力を入れているCG制作でも、完成まで粘り強く続けることで技術向上につなげています。仕事においても、困難なことから逃げず、責任感を持って最後までやり遂げます。

「特別な経験」ではなく
「普通の経験を、自分の考え方が伝わる形で書く」

曖昧なワードは深堀りされる

必要なのは

・どんな価値観を持っているか

・具体的なエピソード

・仕事に活かせるか

→無理に盛ったエピソードにしない

エピソード

・部活やアルバイト、習い事の経験

・専門学校で何を学び、入学前と何が変わったか

・グループワークで何に取り組み、どんな結果を得たか

価値観

・自分は何を大事だと思っているのか

・その考えに向かってどう行動しようとしているのか

を説明できれば十分自己PRになる

まとめ

・盛らない

・具体的に説明する

・自分の考えを言語化する

・仕事とのつながりを意識する

自己分析

厚生労働省 自己診断ツール
https://shigoto.mhlw.go.jp/User/Search/Top

リクナビ 自己分析のやり方
https://job.rikunabi.com/contents/howto/4143/